

2021(令和3)年、回遊性が向上し都心臨海部がさらに魅力的に！

横浜都心臨海部では、日本有数のターミナル駅を有する横浜駅周辺地区、国際ビジネスやMICEの拠点であるみなとみらい21地区、開港以来の歴史性あふれる関内・関外地区など、地区毎の特性を生かしたまちづくりを進めるとともに、都心臨海部全体の回遊性を高める取組を進めています。

令和3年は、桜木町駅前と新港ふ頭とを結ぶロープウェイの開業や、各地区を結ぶ歩行者ネットワークの整備など、街の魅力やブランド力の向上に向けた取組を着実に進めます。

1 桜木町駅と新港ふ頭とを結ぶロープウェイが開業

都心臨海部において、移動自体が楽しく感じられるような多彩な交通サービスの充実に向け、平成29年度に公募を実施した「まちを楽しむ多彩な交通の充実」において、提案がありました「桜木町駅前と新港ふ頭とを結ぶロープウェイ」が、運行を開始します。

日本初の常設都市型ロープウェイ「YOKOHAMA AIR CABIN」 令和3年4月22日 運行開始！

★特徴

- ・バリアフリー対応
- ・ゴンドラに冷房を完備
- ・ゴンドラで夜間景観を演出



★営業時間

AM10時～PM10時

★所要時間

片道約5分

※混雑状況により短縮することがあります

★運賃

大人 1,000円
 子ども 500円

★施設概要

- ・全長：約630m
- ・最大高さ：約40m
- ・ゴンドラ数：36基
- ・ゴンドラ定員：8名
- ・事業主体：泉陽興業株式会社

★運行ルート



- ・桜木町駅と新港ふ頭が直結しアクセスが便利に
- ・横浜の魅力的な景観を楽しみながらの移動

2 快適な歩行者ネットワークの形成

歩行者が安全かつ快適に移動できる歩行者デッキの整備などを進め、都心臨海部を訪れる多くの来街者に横浜の魅力を感じていただける歩行者ネットワークの形成を図ります。

(1)MM21 中央地区～新港地区



★女神橋

令和2年12月一部供用開始
令和3年2月全面供用開始予定

水際線のゆるやかなカーブに合わせた線形で、横浜らしい港の景観を感じながら散歩できる新たな歩行者空間を創出します。



女神橋 イメージパース図

★サークルウォークエスカレーター

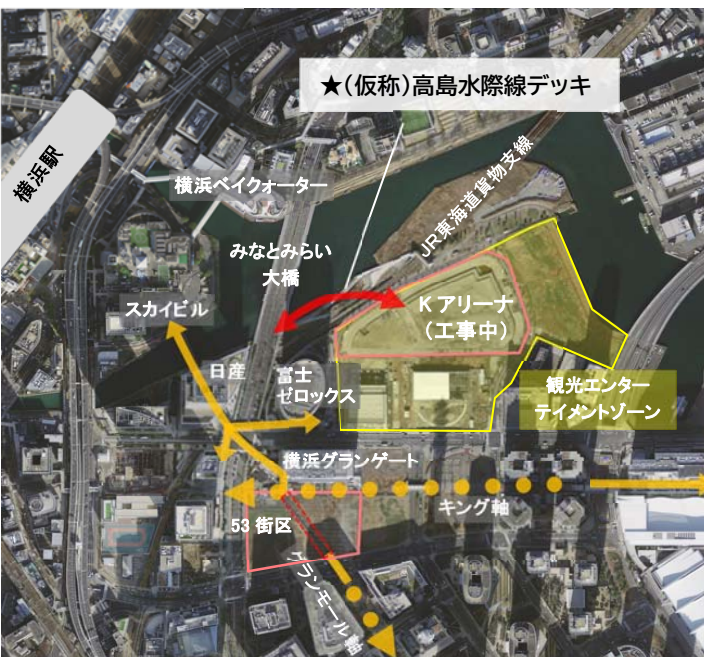
令和3年春供用開始予定

サークルウォークにエスカレーターを設置するなど、赤レンガ倉庫や新港ふ頭客船ターミナル等へのアクセスの向上を図ります。



サークルウォークエスカレーター イメージパース図

(2)MM21 中央地区(北側)



★(仮称)高島水際線デッキ

令和3年度工事開始予定
令和5年度中供用開始予定

みなとみらい大橋と MM21 地区の観光エンターテイメントゾーンを結ぶ新たな歩行者デッキを整備することで、横浜駅東口などからのアクセス向上を図ります。



(仮称)高島水際線デッキイメージパース図

デッキレベル動線
→ (供用済)
→ (事業中)
→ (計画・検討中)

地上レベル動線
→ (供用済)
→ (事業中)
→ (計画・検討中)

(3)北仲通地区



★(仮称)北仲通南北デッキ

令和3年中供用開始予定

桜木町駅から新市庁舎を經由して北仲通北地区を結ぶ歩行者ネットワークを形成するため、栄本町線を渡る新たなデッキを整備します。



歩行者動線のイメージ

(4)関内・関外地区



★みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路の再整備

令和2年度から実施している社会実験等を踏まえ事業を進め、5年度末供用開始予定

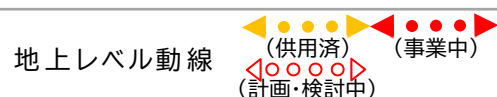
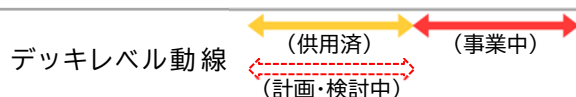
旧市庁舎街区の活用事業や、横浜文化体育館の再整備等が進む関内・関外地区の主要な歩行者動線である「みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路」において、車道幅を狭めて歩道を広げることで、ゆとりある歩行者空間を形成し、回遊性向上を図ります。



みなと大通りの整備イメージ



令和2年11月社会実験の様子



3 都心臨海部の移動がさらに楽しく、便利に

民間事業者と連携しながら、まちを楽しむ多彩な交通の充実に向けた様々な取組を進め、移動がさらに楽しく、便利になることで、都心臨海部の魅力向上を図ります。

(1) オープントップバスの魅力がさらに向上(京浜急行電鉄)

平成31年4月から運行を開始した「KEIKYU OPEN TOP BUS 横浜」に、特殊なゴーグルを着用して乗車し、現実とバーチャルの融合体験をしながら市内の様々な観光名所を巡ることができる「XR観光オープントップバスツアー@横浜」が、今年春から始まります。

これにより、横浜ベイエリアの風景を満喫できるオープントップバスの魅力がさらに高まります。

※XRとは、VR(仮想現実)など、仮想空間と現実空間を違和感なく融合し、これまでにない新たな世界を創る技術の総称



「XR観光オープントップバスツアー@横浜」イメージ

(2) 水辺からの眺望を楽しみながら移動できる水上交通の充実(各水上交通事業者)

港町・横浜ならではの特徴を活かし、水辺からの眺望を楽しみながら便利に移動できる水上交通について、民間事業者と連携しながら、航路等のさらなる充実に向けた取組を進めます。

・川と海をつなぐ航路の取組

大岡川、中村川といった河川と港をつなぐ水上交通の社会実験を進め、航路の充実や水辺空間のにぎわい創出を図ります。



河川と港をつなぐ水上交通



羽田横浜航路

・羽田横浜航路の取組

海上を快適に移動できる羽田横浜航路について、サービスの充実に向けた取組を進めます。

(3) 「my route」の充実(神奈川県トヨタ販売店)

令和2年7月に横浜エリアで提供が始まったスマートフォン向けアプリ「my route」は、様々な公共交通に加え水上交通やバイク等も含めたルート検索と予約・決済機能、さらには商店街等と連携し、観光情報等も同時に検索できる MaaS アプリです。

今年は、さらなる利便性向上に向けた新たな交通モードとの連携やイベント情報の追加など、サービスの充実に向けた取組を公民連携で進めます。



(4) 「AI運行バス」導入に向けた取組(NTTドコモ)

AI運行バスは、需要に応じAIが最適な乗り合わせを判断して配車と運行指示を行い、お客様に効率的な移動を提供するオンデマンド乗合型交通サービスです。



都心臨海部を対象に平成30年から実証実験を行っており、今年は、大小様々な車両の制御技術の向上や、他の交通サービスとの連携等、都心臨海部での導入に向けたさらなる実証に公民連携で取り組みます。



実証に使用する車両

※()内は連携している民間事業者

お問合せ先

- (本資料全般及び1, 3(1・3・4)に関する事) 都市整備局企画課長 松井 恵太 Tel 045-671-2005
 (2(3), 3(2)に関する事) 都市整備局都心再生課長 高井 雄也 Tel 045-671-3972
 (2(2)に関する事) 都市整備局みなとみらい21推進課長 遠藤 拓也 Tel 045-671-3501
 (2(1)に関する事) 港湾局整備推進課長 石井 雅樹 Tel 045-671-2885
 (2(4)に関する事) 道路局企画課長 桐山 大介 Tel 045-671-2746
 都市整備局都心再生課都心再生担当課長 中尾 光夫 Tel 045-671-3952